

12 月 21 日 : 不動産セクターの上昇を受け、VN 指数は小幅反発

不動産セクターへの買いはマーケットを支え、VN 指数は反発した。しかし上昇の勢いは乏しく、午後の大型株への売りはマーケットの重しとなった。

ホーチミン市場の VN 指数は 0.1% 高の 1,478.74 ポイントで取引を終えた。

騰落別では 247 銘柄が上昇、220 銘柄が下落した。

売買高は約 8 億 6,600 万株で、売買代金は 26 兆 8,000 億ドン（11 億 7,000 万米ドル）となった。

VN30 指数は 0.14% 安の 1,511.48 ポイントで取引を終えた。

同指数採用銘柄のうち、15 銘柄が下落、12 銘柄が上昇した。

多くの銘柄で軟調な値動きとなり、ベトナム国際銀行-3.1%、ペトロベトナムガス (GAS) -2.8%、TP バンク-2.5%、ベトナム投資開発銀行 (BID) -1.8%、サイゴンハノイ銀行 (SHB) -1.6%、ビンググループ (VIC) -0.9% とそれぞれ売られた。

一方、不動産セクターでは堅調な値動きが見られた。ビンホームズ (VHM)、ノバランド不動産投資グループ (NVL)、DIC 不動産 (DIG)、キンバックシティグループ (KBC) といった大型株はマーケットの上昇を牽引した。さらに中小型株である CEO グループ (CEO)、LDG 投資 (LDG)、ホーチミン市インフラ投資 (CII) はそれぞれストップ高をつけた。

セクター別では全 25 業種のうち、証券、情報技術、小売、銀行、ゴム製品、建設資材、物流を含む 17 業種が売られた。

その一方で、値上がり業種にはヘルスケア、農業、食品飲料、不動産、保険、水産加工、卸売、石油ガス、建設が含まれた。

ハノイ市場の HNX 指数は 0.09% 高の 455.01 ポイントで取引を終えた。

売買高は 1 億 1,100 万株で、売買代金は 3 兆 3,000 億ドンを超えた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。